

1 高齢社会に生きる私たちの暮らし

教科書 P56～57

1 高齢者とかかわる

1 高齢社会に生きる私たちの暮らしについて、()の中に適語を記入しよう。

私たちは、日本が初めて経験する「本格的な()」という未知の世界に生きている。高齢者自身にとっても、これまでの人生で経験したことのない()にとまどいを感じることもあるのではないだろうか。

2 高齢者が豊かに暮らしていく上で、どのようなことが考慮されなければならないだろうか。

3 高齢者とかかわりを持つことについて、()の中に適語を記入しよう。

私たちは、長い人生を生きてきた高齢者から、私たちの将来の生活や職業に関する()を授かることもあるだろう。高齢者とふれあい、かかわることは、高齢者を()するだけではなく、私たち自身をも()させてくれる。

4 あなたが考える「理想的な高齢者」とはどんな高齢者か、イメージを書き出してみよう。

2 高齢社会の状況

1 高齢社会の状況について、()の中に適語を記入しよう。

人口の高齢化が世界的に進んでいる。先進地域では()、()が進み、発展途上国では人口爆発による()という対照的な現象が進んでいる印象があるが、高齢化は()に進んでいる。

2 高齢化は世界的に進んでいるが、進み方の速さは異なっている。表1を参考に、各国の「65歳以上の割合が7%から14%に達する期間」をまとめよう。

国	7%	14%	7%→14%
フランス	1864	1979	()年
スウェーデン	1887	1972	()年
ドイツ	1932	1972	()年
イタリア	1927	1988	()年
日本	1970	1994	わずか()年
アメリカ	1942	2014	()年

3 図2「65歳以上の人口割合」を見て、気づいたことをまとめよう。

--

4 高齢社会の定義について、()の中に適語を記入しよう。

国連では、65歳以上の人口の割合が()%以上の場合「老年」の国とした。その定義の2倍になる数値が()%である。日本では、()%以上を()、()%以上を()、()%以上を()と呼ぶことが多い。

5 2017年時点での、日本の平均寿命はいくつだろうか。

男性 歳 女性 歳

6 日本の高齢化率はどれくらいと予想されているだろうか。また、その時自分は何歳だろう。

2035年	%	歳
2060年	%	歳

7 日本で高齢化が進んだ理由について、考えてみよう。

--

8 図3「人口ピラミッドの変化」を見て、2005年と比べた2060年と特徴をあげてみよう。

--

9 社会のメンバーの年齢構成が変化すれば、その変化に対する準備が社会的にも個人的においても必要になってくる。どのようなことが考えられるか、まとめよう。

社会的に準備できること、課題など	個人的に準備できること、課題など

2 高齢者を知る

教科書 P58～61

1 高齢者の心身の特徴

1 加齢に伴う変化について、()の中に適語を記入しよう。

寿命には、()寿命と()寿命がある。

脳の()や障がいにより、記憶力が低下したり、()になることもある。

()寿命を延ばし、高齢期を充実したものにしたいと、若い時からの()や生活習慣病等に対する予防、()への取り組みが重視されるようになってきた。

2 「結晶性知能」と「流動性知能」について、まとめよう。(図4参考)

「結晶性知能」とは………

「流動性知能」とは………

3 図5「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数」、図6「平均寿命と健康寿命」を見て、今後さらにどのような生活を送る人が増えると予測されるかまとめよう。

--

4 個人差について、()の中に適語を記入しよう。

高齢期は、幼少期、青年期と同様に()の頂上をめざし、()をしている過程にあるととらえることができるが、高齢者の心身の状況は、()が大きい。したがって高齢者は、心身の状態に応じて多様な()を自ら選び、その人らしい()をつくりながら生活を送っている。

2 高齢者の生活

1 図7「高齢者の男女・年齢階級別に見た家族構成割合」を見て、気づいたことをまとめよう。

--

2 高齢者の経済について、まとめよう(解答は少数点第1位を四捨五入する)。

高齢者の生活資金	
高齢者世帯の年間所得(図9)	平均約 万円 公的年金・恩給は約66%の世帯において総所得の %以上を占める
老後の最低日常生活費	月 万円

3 「身辺自立」とはどういう状態のことか、まとめよう。

4 図11「高齢者のグループ活動への参加状況」を見て、気づいたことをまとめよう。

5 高齢者の社会参加の例として、農村での様子をまとめよう。

3 高齢者の生活の課題

1 現在、核家族化の進行や高齢化の加速により、介護の課題を生み出している。それぞれについてまとめよう。

「老老介護」とは……

「認認介護」とは……

2 表2「要支援・要介護認定者数」について、()の中に適する数字または語句を記入しよう。

()歳 前期高齢者		()歳以上 後期高齢者	
()	()	()	()
238,931 人	506,553 人	1,488,845 人	3,952,553 人

3 豊かな高齢期を迎えるしくみ

教科書 P62～63

1 大きな介護不安

1 介護不安について、()の中に適語を記入しよう。

高齢期の生活に対して()を感じている人は多い。「自分や配偶者の病気や介護のこと」

「()が十分でなくなること」「配偶者に先立たれた場合のこと」「()

になること」など、介護不安や()を感じている。

介護問題の解決には「介護を必要とする人」に対する支援にとどまらず、「()」に対する支援が含まれる。

2 「介護不安」や「孤立不安」とは、どのような不安のことだろうか。またその不安をなくすために、介護者や周囲の人はどのように行動したらよいのか考えてみよう。

	介護不安	孤立不安
どのような不安か	(例)経済的な不安。	(例)相談できる人がいないという不安。
介護者や周囲の人の行動	(例)役所や地域の支援センター等へ相談に行く。	(例)地域の高齢者支援に何があるかを知る。

3 介護に関する支援策について、()の中に適する制度または法律名を記入しよう。

介護を必要とする人への支援策	()
介護をする人への支援策	()

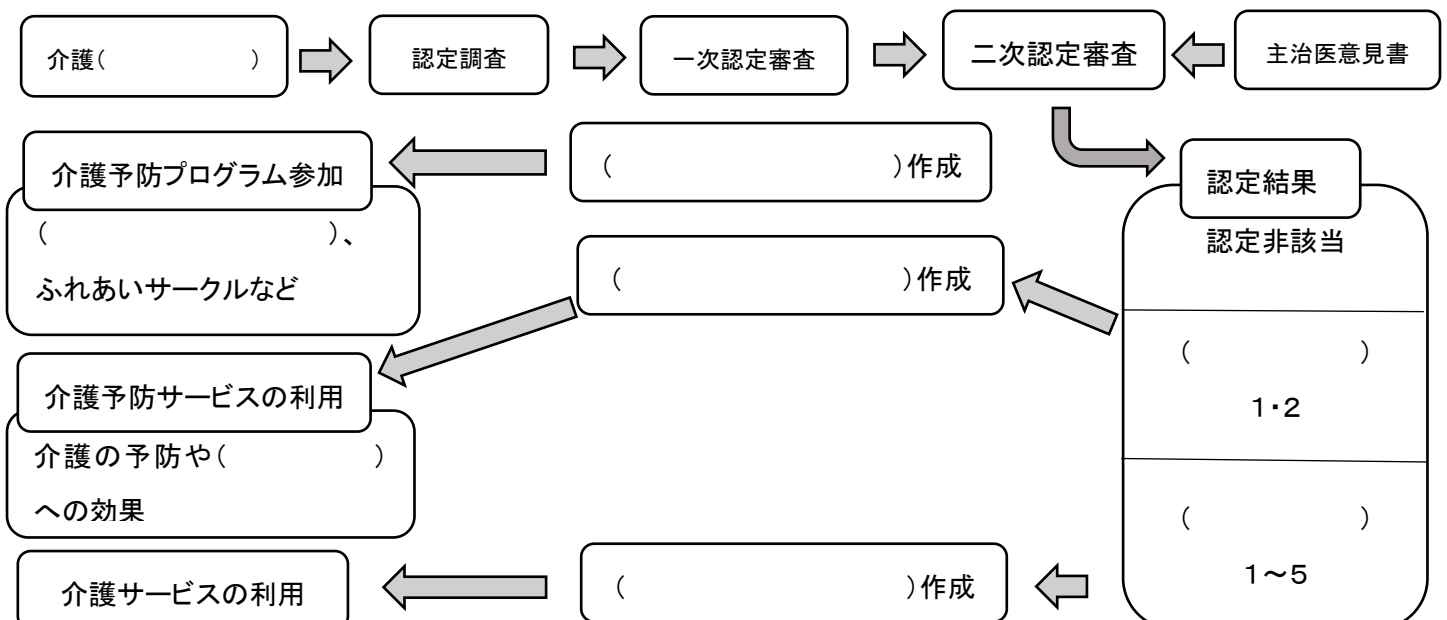
4 介護をする人を支援するためには、どのようなことが必要だろうか。

2 介護サービスの利用

1 介護保険制度のしくみについて、()の中に適語を記入しよう。

介護保険制度の保険者(実施主体)は市区町村などであり、()歳以上の人が()を納め被保険者となる。介護サービスを利用するには、市区町村などに申請をし、()を受ける。

2 図13を参考に、介護保険制度のしくみについて、()の中に適語を記入しよう



3 要支援、要介護と認定された場合について、まとめよう。

要支援	
要介護	

4 介護サービス計画(ケアプラン)について、まとめよう。

ケアプランの作成	
在宅でのサービスを利用する時の費用	
施設サービスを利用する時の費用	

5 図14「デイサービスの1日の例」を見て、気づいたことや疑問に思ったことをまとめよう。

--